

4.22. 芝浦工業大学 芝浦衛星チーム

私たちは、学生サークルの手で人工衛星を開発し、運用することを目指している団体です。現在は CanSat・宇宙エレベーター・ロケットの製作を行っています。これらの製作を行う過程で出てくる問題点やその解決プロセスを蓄積することで、団体の開発レベルが向上し、人工衛星開発に近づくと考えています。

4.22.1. CanSat プロジェクト@ARLISS

CanSat 部門では、2016 年 9 月の ARLISS のミッション部門への初参加を果たしました。取り組んだミッションは「地中の水分測定&ランバック」です。外見は通常のランバックのものですが、内部にドリル 2 本を回転させながら降下させる仕組みがあり、これで地中の水分量を測定することができます。ドリル機構の小型化と機体の耐久性を特にこだわりました。



図 1 CanSat 機体 外装

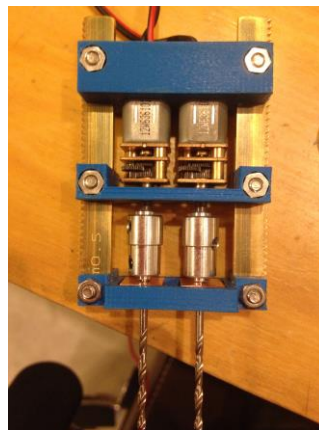


図 2 ドリル部

4.22.2. その他のプロジェクト

宇宙エレベーターでは、2015 年度に 3D プリントした部品を組み合わせ、製作しました。現在は、3D プリントした部品において弱点であった耐久度の強化を図るため、2015 年度と全く異なる宇宙エレベーターを設計・製作中です。

ロケットでは、2016 年度 GSE(地上支援機材)を購入しました。これを用いることで自団体でのロケット開発を強化していきたいと考えています。